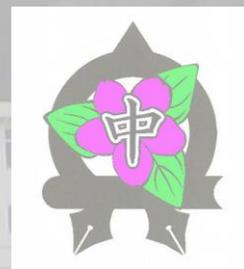


学校だより 令和5年度 第1号

協働



令和5年4月17日発行 奥多摩町立奥多摩中学校

奥多摩町立奥多摩中学校、令和5年度スタート

校長 原 善 哉

令和5年4月7日の入学式に、26名の新入生を迎え、奥多摩中学校は全校生徒64名でのスタートを切りました。呼名で元気よく清々しい返事を聞かせてくれた1年生と、温かく優しく1年生を迎え、自分たちの進級に意欲を燃やしている2年生・3年生が、令和5年度のスタートをさらに加速させてくれています。心強く、うれしく感じています。

みなさま、はじめまして。4月より校長として着任いたしました、原善哉（はら よしや）と申します。奥多摩町には平成9年度から13年度まで、閉校前の小河内中学校に勤め、技術の教科指導と、バドミントン部の指導に打ち込んでおりました。当時は住まいも氷川小の上の住宅で、幼かった子供と、たくさん散歩したり遊んだり、私にとって奥多摩町は楽しく満たされた思い出ばかりです。公私ともにお世話になった奥多摩町に戻って来ることができて、うれしい気持ちでいっぱいです。

一人一人の顔が見え、一人一人との関係を大切にできる奥多摩中は、まさに教育の原点です。水が奥多摩から流れ出し東京都を潤していくように、保護者・地域の皆様と共に奥多摩中の教育を充実させ、発信してまいりましょう。令和5年度も充実した教育活動のために、教職員と共に、精一杯力を尽くしてまいります。御理解、御協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

～入学式 学校長式辞より・抜粋～

“奥多摩中学校には校訓の通り、どんなときも「共に学び」「共に考え」支えてくれる先生や先輩がいます。ぜひ、たくさん話をして、たくさん話を聞いて、たくさん仲良くしてください。

中学時代とは子供から大人へと大きく成長する時です。中学卒業後は、義務教育も終わり、社会に出て行くこととなります。このときに、自分を支え、力となってくれるものは何でしょうか。

それは「自信」です。この「自信」をぜひ中学時代にたくさん身に付けてください。熱中できる趣味や特技、勉強、スポーツなど自分に合う何かを見付け精一杯取り組んでください。

その中から、努力の方法を学び、実力を高めていけば、必ずやみなさんの中に大きな「自信」が身に付いていくことでしょう。このときに大切なのは、他人との比較ではなく、自分との勝負だということです。そうです、比べて良いのは「昨日の自分」です。何かに取り組んだ後に振り返って見ると、必ず成長した自分に出会えるはず。知らなかったことを知ったとき、そしてできなかったことができるようになったときに、人間は大きな喜びを感じます。この喜びを、奥多摩中学校でたくさん感じましょう。そして三年後の卒業時には、自信にあふれ、郷土を飛び立って行く自分を想像しながら充実した毎日を送ろうではありませんか。みなさんの「郷土を大切に、21世紀をたくましく生きていく力（教育目標）」を着実に育むために、私たちは全力を尽くします。“